

## 省エネルギー

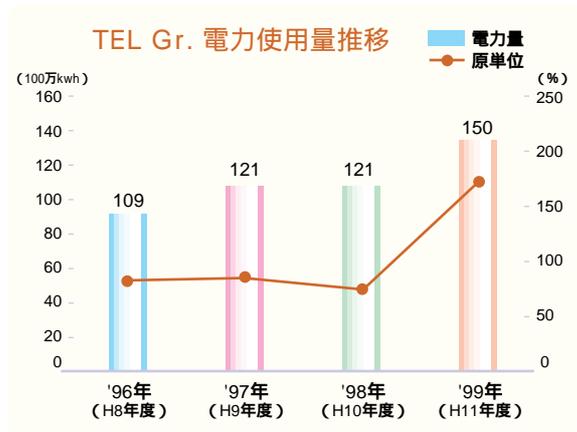


東京エレクトロングループでは、地球温暖化防止対策として省エネルギーを推進しています。各事業所共通として、昼休みの消灯、空調機の温度設定管理等を実施し電力の削減を図っています。また認証取得事業所においては、省エネルギーを目的・目標に掲げ計画的に実施しております。

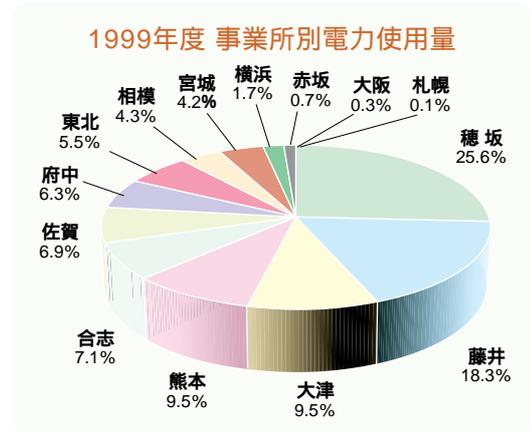
### 主な実施内容

照明、OA機器の節電(全事業所)	クリーンルームの部分的使用停止(佐賀)
空調機の温度設定管理(全事業所)	装置の計画停止(大津・山梨)
デモ機稼働率低減システムの設計および運用(山梨)	コンプレッサーの夜間停止(山梨)
自動販売機の夜間停止(大阪)	

1999年度から、製造系事業所に加えて非製造系事業所の電力使用量も集計を開始しました。また、製造系事業所や研究機関地区において1999年度後半から製造設備、評価設備のフル稼働状況が続いており、1998年度と比較して東京エレクトロングループ全体の電力使用量は大幅に増加してしまいました。しかしながら、今後も各事業所において、省エネルギーの推進を継続して実施していきます。1996年度のデータは、一部の事業所の集計となっており、参考として掲載します。



原単位 =  $\frac{\text{電力使用量}}{\text{売上高}}$  (1997年度 = 100%)



### 取組み事例

佐賀事業所における1999年度の電力削減率は、1996年度を基準として、原単位 当りで20.4%と目標の10%を大きく上回りました。省エネルギー活動の削減効果は大きいと言えます。但し、事業所での生産変動(減少)の影響を受けていることを付記しておきます。

大津事業所では、事業所全体で昼休みの消灯と、特定エリアでの空調時間による節電に取り組みました。結果として、年間9,000kwhの節電効果がありました。

大阪支社では、飲料の自動販売機に稼働時間タイマーを取付けて、夜間に電源を落とすようして節電に取り組みました。